MITSUBISHI

三菱 ダクト用 ロスナイ〈天井埋込形フラットインテリア・自動運転タイプ〉

形 名

VL-1600ZA

取扱説明書

お客さま用

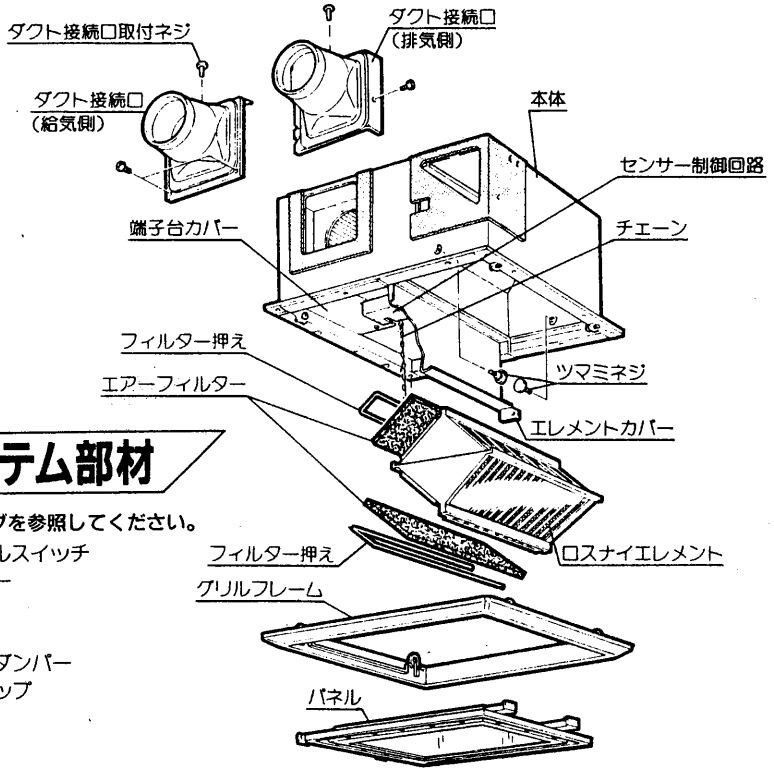
このたびは三菱 ダクト用 ロスナイをお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

なお、この説明書は保存しておいてください。ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、お役にたちます。

このロスナイの運転にはシステム部材のコントロールスイッチ（P-1600SLA2、P-1600SWLA）または、市販品の埋込スイッチが必要です。

1. 各部の名称



2. システム部材

形名など詳細はカタログを参照してください。

- ■コントロールスイッチ
- ■防火ダンパー
- ■深形フード
- ■丸形フード
- ■煙逆流防止ダンパー
- ■ベントキャップ
- ■パイプ継手
- ■ジャバラ

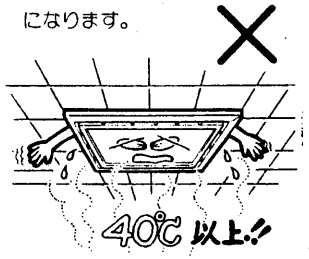
3. 特に注意していただきたいこと

取付場所

次のような場所に取付けられていないか確認してください。

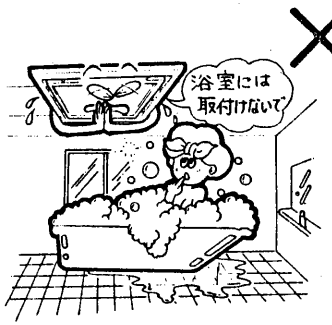
■高温や直接炎が当たる場所

●ロスナイを取付けた付近の温度が40℃以上になるところは避けてください。製品の故障の原因になります。



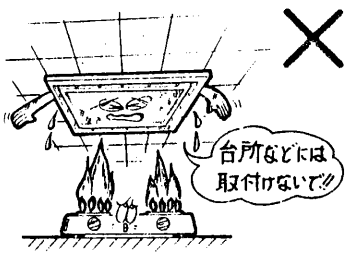
■浴室・洗面所など湿気の多い場所

●感電や故障の原因になります。



■台所など油煙の多い場所

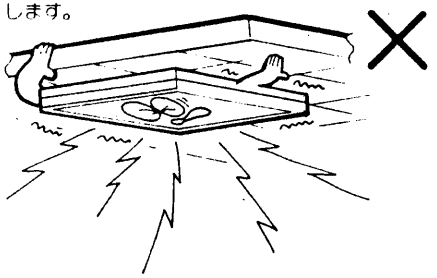
●グリルフレームなど破損の原因になります。



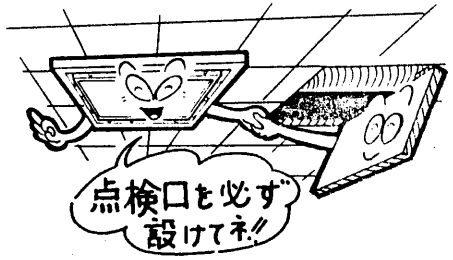
取 付

■ロスナイが確実に取付けられているか確認してください。

●取付けが不十分ですと振動したり、異常音を発生します。



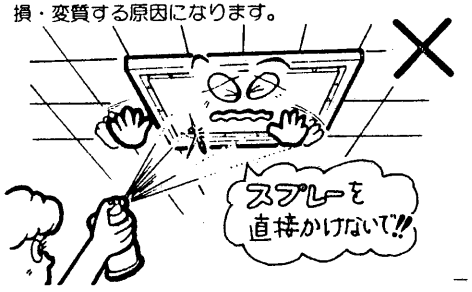
■ロスナイを取付けた天井には、ダクト接続部が点検できる保守点検口があるか確認してください。



■取付場所・取付けに関して不具合があった場合は専門の工事店へご相談ください。

使 用

■スプレー（殺虫用・整髪用・掃除用など）をかけないでください。センサーの故障や、パネルなどが破損・変質する原因になります。



■お手入れの際ロスナイエレメントを水洗いしないでください。

■フィルターは必ずご使用ください。
フィルターを使用しませんとロスナイエレメントにごみやほこりが詰り、ロスナイの機能が発揮できません。

■センサーの表面には触れないでください。
感電・故障の原因となります。

4. 使用方法

このロスナイはシステム部材のコントロールスイッチにより、自動運転と連続運転をすることができます。

自動運転とはセンサーが空気の汚れを検知して自動的に運転を開始し汚れを排出します。汚れを検知しなくなってから、さらに約10分間運転し続け室内に残った汚れを排出します。

■センサーが検知する汚れと検知しない主な汚れは、下表の通りです。

センサーが検知する空気の汚れ	センサーが検知しない空気の汚れ
タバコの煙、蚊取り線香、各種スプレー 都市ガス、LPガス、一酸化炭素 シンナー、ガソリン、アルコール	二酸化炭素(炭酸ガス) 砂や綿ボコリ 油塵 におい

ご注意

- このロスナイをガス漏れ、または暖房機などからの一酸化炭素発生時の安全装置として、使用しないでください。
- 新築時など、建材から発生するガスを検知し運転することがあります。

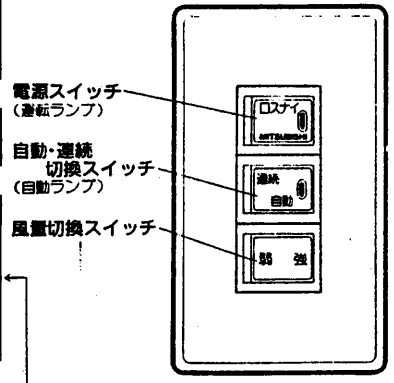
連続運転の場合

1. 電源スイッチを入れます。運転ランプ点灯。
2. 自動・連続切換スイッチを「連続」にします。
3. 風量切換スイッチを「強」または「弱」にします。
4. 運転開始します。
5. 電源スイッチを左へ押すと運転ランプが消灯し、運転停止します。

自動運転の場合

1. 電源スイッチを入れます。
2. 自動・連続切換スイッチを「自動」にします。自動ランプ点灯。
3. 風量切換スイッチを「強」または「弱」にします。
4. センサーが空気の汚れを検知しますと運転を開始し、運転ランプが点灯します。(このとき、ロスナイ本体のセンサー検知確認ランプも点灯。)
5. 空気の汚れを検知しなくなって約10分間運転し、その後運転停止、運転ランプが消灯します。自動ランプは点灯したまま空気の汚れを監視します。

コントロールスイッチ
(P-1600SLA2の場合)

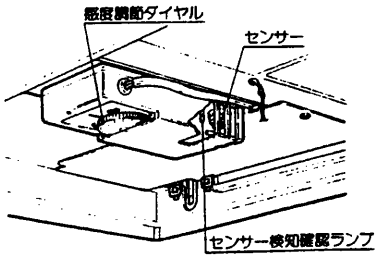


ご注意

- 使用初期にロスナイエレメントの紙の臭いが出る場合もありますが、異常や有害ではありません。

■感度調節のしかた (室内の空気のきれいなときに行ってください。)

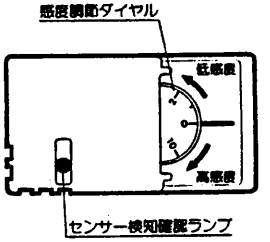
(1) 自動運転の状態でパネルを外し、感度調節ダイヤルを左いっぱいまで回して「0」にし、センサー検知確認ランプが消灯することを確認しロスナイの運転を停止させます。



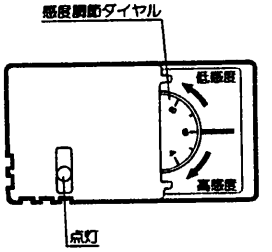
ご注意

- ダイヤル目盛りを「0」にしても最初の2～3分間はセンサー検知確認ランプが点灯することがありますが、異常ではありませんので、消灯するまでお待ちください。
  センサー検知確認ランプが消灯しても、ロスナイは運転し続けます。約3分程運転後切換スイッチをいったん「連続」にして、2～3秒後に再び「自動」にすると停止することができます。
- 停止してから少しの間は羽根が回転しています。
  回転が止まるまでお待ちください。

(2) 感度調節ダイヤルを「0」から右へゆっくり回してください。
センサー検知確認ランプが点灯する位置がみつかります。5～10秒後にロスナイが運転し始めますので、その前に感度調節ダイヤルを逆方向の左へゆっくりセンサー検知確認ランプが消灯するまで回してください。



(3) そして、その位置よりさらに1/4目盛りくらい低感度側(左)に回してセットしてください。
これで自動運転のセットは完了です。
(図の中の目盛りの位置は参考であり、使用場所によって数値が異なります。)



※部屋の空気がきれいであれば「4～6」の範囲で点灯します。

(4) 自動運転動作を確認するにはライターのガス(点火しない状態)をセンサーに向って約2～3秒間吹きつけると、センサー検知確認ランプが点灯して5～10秒後にロスナイが運転し始めます。

前項に示したセット方法は、標準セット方法ですので、低感度にする場合は「左」へ回し、高感度にする場合は「右」へ回して微調整してください。

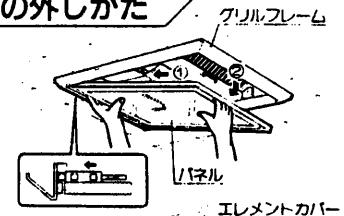
■自動運転の場合のご注意

- 電源スイッチを「入」にしたときや、自動・連続切換スイッチを「連続」から「自動」にしたとき、また停電があったときに、センサーの予熱のため空気がきれいな状態でも12分～13分ロスナイが運転する場合があります。
- 室外空気がロスナイの給排気口から室内に入っている場合は、室内空気が汚れていても運転しない場合があります。

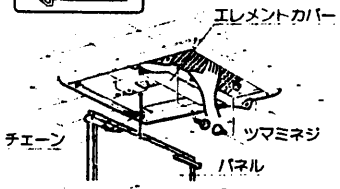
5. お手入れのしかた

■ロスナイの機能低下を防ぐため、エアーフィルターおよびロスナイエレメントに付着したごみ、ほこりを定期的に清掃してください。
■お手入れの際は必ずコントロールスイッチの電源を切ってから行ってください。

ロスナイエレメント・エアーフィルターの外しかた

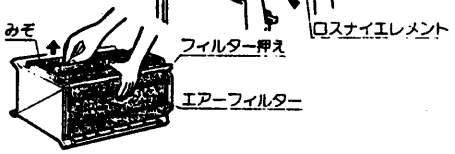


1. パネルを少し押し上げながら矢印(名板)の方向に押してグリルフレームから取外します。
チェーンが取付けてありますので落下の恐れはありませんが十分注意してパネルを取外してください。



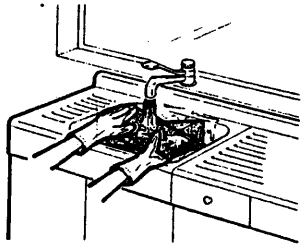
2. エレメントカバー固定用のツマミネジ2本を外し、エレメントを片手で押えながらエレメントカバーを開きます。

3. ロスナイエレメントを真下に引き出します。



4. フィルター押えをつまんでたわませみぞ部分から取外します。
フィルター押えを外すとエアーフィルターが外せます。

エアーフィルターの清掃 ……2ヵ月に1回以上



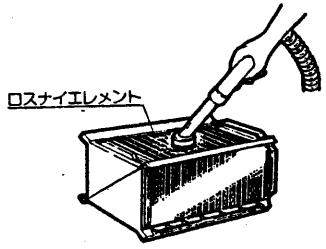
●中性洗剤を溶かしたぬるま湯で軽くもみ洗いし、洗剤がとれるまできれいな水で洗ってください。水気が残らないようよく乾かしてください。

ご注意

●熱湯で洗ったり、火で乾かすことは絶対に行わないでください。また、薬品、揮発性の溶剤は絶対に使用しないでください。

ロスナイエレメントの清掃 ……1年に1回以上

●掃除機で表面のごみ・ほこりを吸取ってください。掃除機のノズルは長いはけ付きのものを軽く当てて清掃してください。



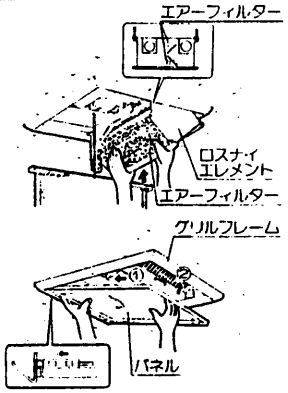
ご注意

●ロスナイエレメントは絶対に水洗いしないでください。
●硬いノズルを当てますと目がつぶれる恐れがありますので注意してください。

5. お手入れのしかた つづき

ロスナイエレメント・エアーフィルターの取付け

取付けは取外しと逆の順序で行ってください。



ご注意

●ロスナイエレメントを本体に取付ける際にはエアーフィルターの位置を確認してください。(本体内側2ヵ所)
●パネルは矢印(名板)の方向に押してグリルフレームにはめ込んでください。

グリルフレーム・パネルの清掃

●グリルフレーム・パネルが汚れてきましたら、中性洗剤を入れたぬるま湯に浸した布を固くしぼって拭いてください。洗剤が残らないようきれいな布で拭き取ってください。

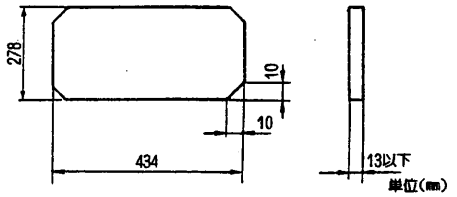
ご注意

●グリルフレーム・パネルの清掃に次の溶剤を使用しないでください。揮発生の溶剤(ガソリン・シンナー・アルコール・ベンジン・灯油など)、スプレー式洗剤、化学ぞうきん、みがき砂、金属タワシなど使用されますと変形・変質の原因になります。

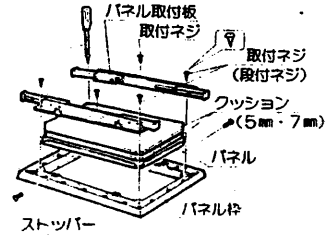
6. パネルと天井材を合わせる場合

ロスナイのパネルが天井材と同一で見ばえが良い取付けかたです。

1. 天井材を下図のように切断します。



2. パネル取付ネジ6本(内4角のネジは段付ネジ)を外し2ヵ所のストッパーをマイナスドライバーなどで取外してください。



3. 用意した天井材とパネルを入換えて取外しと逆の順序で組立てます。その際天井材の厚みに応じてクッションを選びすき間がないよう固定してください。

ご注意

●天井材の厚さは13mm以下としてください。
●天井材は2.3kg以下としてください。

7.仕　様

形　名	電　圧 (V)	周波数 (Hz)	ノッチ	消費電力 (W)	風　量 (㎥/Hr)	温度交換効率 (%)	騒　音 (ホン)	重　量 (kg)
VL-1600ZA	100	50	強	40	125	70	39.0	12.0
			弱	24	89	74	33.0	
		60	強	49	145	68	41.5	
			弱	26	77	76	31.0	

※自動運転時はロスナイが運転されていなくても約1.5Wの電力を消費しています。

8.サービスをお申し付けの前に

自動運転にセットされていて換気扇が運転しないとき、または運転が止まらないときは次のことがらに注意して確認してください。

	現　象	原　因	処　置
ロスナイが運転しない	自動ランプが点灯していない。	元電源が切られていませんか。	元電源を入れてください。
		電源スイッチは「切」になっていませんか。	「入」にしてください。
	自動ランプは点灯している。	調整ダイヤルが低感度側(左)に回りすぎていませんか。	調整ダイヤルを高感度側(右)へ少し回してください。
		ロスナイの下部近くにセンサーの検知を妨げる障害物はありませんか。	センサーが正常に検知できるように移動してください。
		センサー検知確認ランプが点灯した直後ではありませんか。	5～10秒後にロスナイが運転されますので、そのまま使用してください。
ロスナイの運転が止まらない	室内の空気はきれいな状態である。	自動・連続切換スイッチが「連続」になっていませんか。	「自動」にしてください。
		調整ダイヤルが高感度側(右)に回りすぎていませんか。	調整ダイヤルを低感度側(左)へ少し回してください。
		自動・連続切換スイッチを「連続」から「自動」または、「切」から「入」にした直後ではありませんか。	12～13分後にロスナイの運転が停止しますのでそのままご使用ください。
		室内の空気がきれいになってからも約10分間ロスナイの運転が続けられます。	故障ではありませんのでそのまま使用してください。

ご注意

- センサーの感度は気温によっても多少影響を受けます。季節の変わり目には感度調節を行ってください。

9.ロスナイの診断のお願い

長い間ご使用のロスナイは、使用上支障がなくても、安全のための診断をお願いします。
■次のような現象がある場合は、事故防止のためすぐに電源を切ってお買い求めの販売店に点検・修理をご依頼ください。(有料)
★ご自分での修理は、危険ですから絶対にしないでください。

- 連続運転時コントロールスイッチを入れてもときどき運転しないことがある。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- こげ臭い“におい”がする。

10.アフターサービス

三菱ダクト用ロスナイのアフターサービスは、お買い求めの販売店へお申しつけください。
なお、おわかりにならないときは、当社のご相談窓口(取扱説明書同封一覧表の最寄りの三菱電機お客さま相談センター)にお問い合わせください。

補修用性能部品の最低保有期間

換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客さまへ

形　名	VL-1600ZA
お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ店名 (住　所) (電話番号)	(　　)

家電品 愛情点検 明るいくらし

三菱電機株式会社
〒100 東京都千代田区丸の内2-2-3(三菱電機ビル)

9110A*1B
5982H662*5